

●2003年5月13日

## 「SUPARTZ®」フィリピンでの承認を取得

生化学工業株式会社(社長:榎 史朗)が海外向けに製造販売しております変形性膝関節症を適応とする関節機能改善剤「スバルツ」(SUPARTZ®)が、2003年4月8日付けでフィリピンの食品医薬品局より製品登録の承認を取得いたしました。

生化学工業は承認取得に先駆け、Orthopaedic Innovations Manufacturing Inc.\* (以下、OIMI社、社長/CEO ロドルフォ ガスティロ)とフィリピンにおける非独占販売代理店契約を2002年9月13日に締結しております。OIMI社は人工関節を中心とした医療機器の製造販売を行っており、整形外科領域に専門性を持つフィリピン法人です。

販売開始は2003年秋頃の予定で、OIMI社の整形外科領域での販売基盤を活用することにより「スバルツ」の販売が円滑に進むものと考えられます。

「スバルツ」は生化学工業が製造している、世界初のヒアルロン酸を主成分とする関節機能改善剤「アルツ®」「アルツディスポ®」の別商標です。1987年に日本において上市し、海外では米国、欧州、アジアなど海外19ヶ国で承認を取得しております。これまでに国内外で1億本以上の使用実績を誇り、有効性、安全性、品質の面で医療機関から厚い信頼を得ています。

変形性膝関節症とは、主に加齢により関節軟骨が変性、消失し、腫れや痛みが生じる疾患で、世界的に高齢化が進む中、国内外で患者数の増大が続いております。日本では発売後16年を経て、現在もなお数量ベースでの市場は拡大し続け、2002年度薬価ベースで約370億円となっております。海外でも同様に、米国を主として順調な市場拡大がみられ、「アルツ®」「スバルツ」の海外売上は生化学工業の収益基盤の一つに成長することが期待されます。

### \*Orthopaedic Innovations Manufacturing Inc.

代表者 : President/CEO

Rodolfo B. Gustilo (ロドルフォ ガスティロ)

所在地 : フィリピン マニラ

事業内容 : 人工関節等整形外科領域の医療機器の製造販売

売上高 : 約55億円

社員数 : 51名